

品質の確保・創造・展開

一般社団法人 日本品質管理学会
JSQC

入会のご案内



The Japanese Society for Quality Control

URL www.jsqc.org/

品質の確保・創造・展開

一般社団法人日本品質管理学会は変化する社会,企業環境に対応するため新しい技術・手法の研究開発の推進に寄与すると共に得られた成果を産業界に普及させる橋渡しとしての役割を果たします。

入会のおすすめ

日本の製品はその品質の高さで世界に確固たる地位を築いてきました。これにはわが国の産学協調による品質改善・生産性向上など品質管理へのあくなき努力がその背景にあったことが内外から高く評価されております。

当学会は、品質管理の一層の発展と学理の探求をめざして、1970年(昭和45年)に設立されました。その後50余年にわたって順調に発展を続け、個人会員2,000名、賛助会員200口にいたっております。会員は学界で品質管理について研究する方のみでなく、実務で品質保証・品質管理にたずさわる方はもちろんのこと、企画、開発、設計、販売など種々の職種の産業界の方が数多く入会されています。

当学会ではこれら広範な会員のみなさまに、機関誌や各種行事を通じて研鑽ならびに交流の場を提供しております。このような場を活用していただくためにも、当学会への入会をお勧めいたします。

ビジョン

社会や産業構造が大きく変わろうとしている現在、品質・質に対する関心と期待は益々高くなってきています。JSQCは品質管理の先達としてこの期待に応えると同時に、参加する会員自身や企業・組織にとってその活動が有益なものとして生かせる、会員のための学会を目指します。大きく変化する社会や企業環境に対応するため、新しい技術・手法の研究・開発の推進に寄与すると共に、得られた成果を産業界・社会に普及させる橋渡しの役割を果たします。

Qの確保

統計学の品質管理への応用、設計・開発の品質保証に関する産学連携プロジェクト、
信頼性・安全性作りこみ技術とその理論構築、
安全・安心を達成するための社会インフラ構築、ソフトウェアの品質確保 など

Qの展開

品質マネジメントシステムの有効活用、医療TQM七つ道具の試験的導入と効果検証、
日本原子力学会等と連携した安全管理技術の確立、
ISO39001道路安全マネジメントシステム規格の開発・普及への協力 など

Qの創造

顧客価値創造の方法論の定式化と確立、サービス企業実態調査の分析、
創造的商品設計開発手法の開発 など

共通領域

JSQC規格の開発・発行、JSQC選書の発行、産学連携の促進、国内外の品質管理関連学協会との連携 など

会員のメリット

1. 品質管理に関する方法論の研究・討論に加わることで、新たな方法を学び、直面する課題の克服のヒントを得ることができる。
2. 品質管理分野の最新の動向を知り、大学の研究者や企業の実務担当者とのネットワークを作ることができる。
3. これらを通じて品質管理に関する自己の専門能力をレベルアップできる。

新たな方法論の開発と実践

機関誌「品質」

投稿区分を報文、技術ノート、調査研究論文、応用研究論文、投稿論説、研究速報論文、クオリティレポート、レターおよびQCサロンの9区分にわけ投稿論文等を募集し、審査、掲載するとともに、タイムリーなテーマについて論説、解説、事例紹介など実用的な記事を集めて掲載しています。

先駆的研究会

研究会は、会員からの公募により設置する研究会と会長委嘱の委員で構成する計画研究会があります。公募研究会は、定員の範囲内で正会員はどなたでも参画する機会があります。最近内外の環境変化を踏まえて、研究対象が広範になり、また公開でのシンポジウムや研究発表会を通じて広く意見を取り入れる活動になっています。研究成果は「品質」誌や報告書を通じて学会員に公開されます。

活動中の研究会

- テクノメトリックス研究会 (計画研究会)
- 医療経営の総合的「質」研究会 (計画研究会)
- 信頼性・安全性計画研究会 (計画研究会)
- 商品開発プロセス研究会 (計画研究会)

研究発表会

秋の年次大会と春の研究発表会を開催し、会員の研究成果の発表、事例発表ならびに相互研鑽の場を提供しています。個人会員は発表の機会があり、会員外でも参加することができます。ISO9000、製造物責任、顧客満足、ソフトウェア、医療関連などバラエティに富んだ発表や、QCのトピックスをテーマにしたチュートリアルセッションも行われています。

部会活動

会員の自主運営による特定の分野を研究する部会があります。WGや公開講座などの活発な活動が行われています。

活動中の部会

- **ソフトウェア部会**：ソフトウェアの質に焦点を当て、より専門性の高い議論、研究活動、情報交換を行うためのコミュニティ。
- **医療の質・安全部会**：医療の質・安全の向上という社会的課題に対して、医学系と工学系とが共同で「医療の質マネジメント」に取り組むためのコミュニティ。
- **サービスエクセレンス／生産革新部会**：社会大変革の先にある未来からバックキャストする形で、これからの時代の品質とは何かを明らかにするとともに、その実現に資するツールの開発を志向するコミュニティ。

*会員30名以上が集まると部会を発足することができます。

最新動向獲得と専門家とのネットワーク構築

シンポジウムによる、会員間の知識向上と意見交換の場を提供

- TQM を経営にどのように活かしていくか? –TQM の指針の活用–
- 現状で探る質創造マネジメントの多様性と今後の展開
- 「お客様と共に取組む価値創造」を考える

著名人を招いた講演会による視野の拡大

- 人材育成と品質不正の防止
- それは、TQM に関する誤解です!
–誤解・疑問を解き明かし、TQM のポテンシャルを 100%引き出して経営パフォーマンス向上につなげる–
- 人間工学にもとづく改善活動–人間の限界を知り、克服する–

事業所見学会による体感

テーマに基づいた討論と見学の組合せで内容豊富な見学会であると、特に産業界の会員に好評です。

- トヨタグループの小型車両の生産拠点であるトヨタ自動車東日本の工場を、現地現物で見いただけます
(トヨタ自動車東日本 大衡工場)
- ボーイング777胴体パネル部品工場／787主翼組立工場における航空機製造の品質管理
(三菱重工業 名古屋航空宇宙システム製作所)
- 月桂冠株式会社のマネジメントシステムについて (月桂冠 大手蔵)
- ～閑静な迎賓館で、音に関する品質を考えてみませんか? ～感性にまつわる品質、音の品質 (松本記念音楽迎賓)
- フードサービスの最前線を体験する～笑顔こそが、私たちの誇りであり、喜びです。～ (日本マクドナルド スタジオM)

JSQCニュース

品質管理関係のトピックスをはじめ、行事事案内、ルポ記事、入会者紹介など会員に有益な情報を提供しています。

クオリティトーク

一流講師の話に耳を傾け、ドリンク片手にディスカッションするというきわめてユニークな行事です。品質管理以外の専門家もお招きし、多様なテーマで実施しています。見聞を広めると共に、交流の場としても好評で、低料金で気軽に参加できます。隔月開催。

支部活動

地域ごとの会員の便宜を図り、会員のニーズに合わせたシンポジウム、事業所見学会、研究発表会、研究会、講演会など地域の特徴を生かした活動を活発に行っております。支部と属する地域は次の通りです。支部の区別なく各種行事に参加できます。

- 東日本支部：北海道、東北、関東、甲信越
- 中部支部：愛知、三重、岐阜、富山、石川、静岡、福井
- 関西支部：大阪、京都、兵庫、奈良、滋賀、和歌山
- 西日本支部：中国、四国、九州、沖縄

お薦めの会員種別

大学や研究機関の方	→	正会員
企業の方で品質管理を自分の専門分野の一つとする方	→	正会員
企業の方で学会の役員に就任いただく方	→	正会員
企業の方で品質管理に関係のある職位の方	→	正会員 または 職域会員
不特定の人を交替で学会事業へ参加させたい組織	→	賛助会員
学会の目的に賛同し、支援を提供していただける組織	→	賛助会員
大学院生・大学生	→	準会員
学会発行の定期刊行物の購入を希望する図書館等	→	公共会員

学会の年度：10月1日から翌年の9月30日までです。

入会手続き

入会ご希望の方は、[会員募集要領](#)または[学会ホームページ](#)をお読みいただき、[学会ホームページ](#)の入会申込フォームに必要事項を記入してお申込みください。不明な点は下記事務局にお問い合わせください。

一般社団法人 日本品質管理学会

- 本部 〒166-0003 東京都杉並区高円寺南1-2-1
日本科学技術連盟 東高円寺ビル内
TEL 03-5378-1506, FAX 03-5378-1507, E-mail: jimukyoku@jsqc.org
- 中部支部 〒460-0008 名古屋市中区栄2-6-1 RT白川ビル7階
日本規格協会 名古屋支部内
TEL 050-1742-6188, FAX 050-3535-8675, E-mail: nagoya51@jsa.or.jp
- 関西支部 〒530-0003 大阪市北区堂島2-4-27 JRWD堂島タワー 11階
日本科学技術連盟 大阪事務所内
TEL 06-6341-4627, FAX 06-6341-4615, E-mail: kansai@jsqc.org

一般社団法人 日本品質管理学会は日本学術会議協力学術研究団体です。

JSQC規格講習会

JSQC規格は日本品質管理学会の委員会、部会または研究会が原案を作成し、審議委員会、パブリックコメントの募集などを経て発行されます。各規格の内容を原案作成委員が解説し、年数回開催しています。

国際交流活動

アジア品質ネットワーク(Asian Network for Quality : ANQ)に加盟する品質に関する17組織が学術国際会議を開催し、グローバル社会におけるアジア品質の更なる向上を目指して活発な議論を行っています。JSQCは、理事組織として積極的に参画しています。

- ANQ Congress 2024 Yokohama (9月)
[Prosperity through Quality
- Returning to Origins, Leaping into the Future -]
- ANQ Congress 2023 Ho Chi Minh City (10月)
[Quality transform with AI booming]
- ANQ Congress 2022 Beijing (10月)
[Together for a Shared Future of Quality :
Digitalization, Sustainability and Ecosystem]

また、米国品質管理協会(ASQ)、欧州品質機構(EOQ)など海外の関連団体との交流を通じた国際貢献に積極的に取り組んでいます。